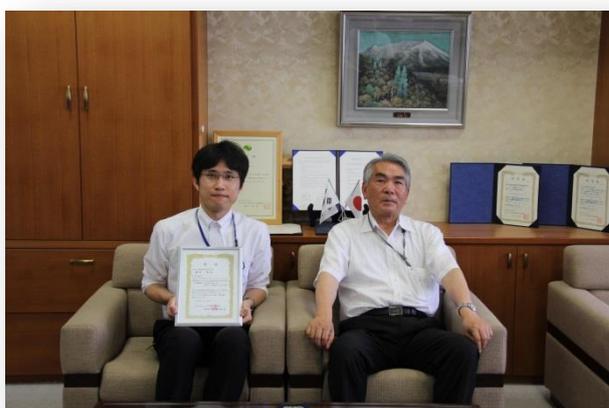


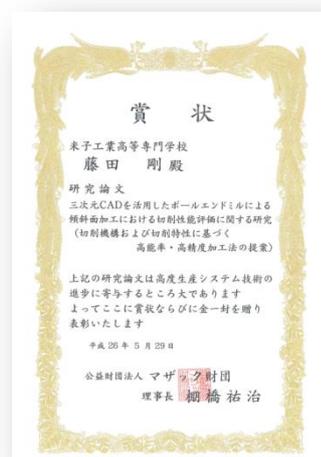
機械工学科・藤田剛 助教がマザック財団優秀論文賞を受賞しました。（平成 26 年 5 月 29 日）

国立米子高専機械工学科・藤田剛助教が、マザック財団平成 25 年度高度生産システム論文賞を受賞しました。同賞は、高度生産システムに係わる、生産技術・機械要素・情報通信技術・制御技術・工作機械・ロボットなど周辺機器の新技术開発に取り組む国内、海外の個人及び大学、研究機関の応募から選定される優秀な論文に授与されます。受賞論文は、「三次元 CAD を活用したボールエンドミルによる傾斜面加工における切削性能評価に関する研究（切削機構および切削特性に基づく高性能・高精度加工法の提案）日本機械学会論文 C 編 79 巻 800 号(2013)」であり、高能率で高精度な加工を実現する切削条件を実験と理論より明らかにした研究成果を示しています。岐阜県美濃加茂市で開催された授賞式（平成 26 年 5 月 29 日、株式会社 ヤマザキマザック美濃加茂製作所、）では、藤田助教が受賞者を代表してスピーチをしました。

藤田助教は、「論文賞を受賞できたことは大変光栄です。今後も研究を継続し、社会に貢献する成果を上げたい。」と語りました。



受賞報告（齊藤校長（右），藤田剛助教）



高度生産システム論文賞賞状